

## 本郷 正武 (HONGO Masatake)

1973 年生まれ。専門は、社会運動論。2004 年、博士後期課程修了。博士。

社会運動、フレーミング、NPO 研究。

2004 年、東北大学大学院文学研究科博士後期修了後、日本学術振興会特別研究員を経て、現在、東北大学大学院文学研究科助教（行動科学研究室）。

- 1.HIV/AIDS: 薬害、NPO、フレーミング
2. 社会運動論：フレーミング、シンボリック相互作用論、アイデンティティ
3. 社会調査法：参与観察、多変量解析、事例調査

### 主要業績

#### 論文

- ・2006, 「ライフコースの重なりが結ぶセルフヘルプ・グループ像 「障害児を持つ親の会」を事例として」『保健医療社会学論集』17(1):25-37.
- ・2003, 「フレーミング・アナリシスによる「良心的支持者」概念の再構成 社会的マイノリティをめぐる社会運動の経験的研究に向けて」『社会学研究』74:59-82.
- ・2002, 「社会運動論における「フレーミング」の理論的位置」『社会学研究』71: 215-230.
- ・2001, 「市民活動団体と行政との協働関係の構築 仙台市市民活動支援施策の形成過程」『社会学研究』69: 105-130.

#### 単著

- ・2007, 『HIV/AIDS をめぐる集合行為の社会学』ミネルヴァ書房.

#### 共著

- ・2004, 早坂裕子・広井良典編著『みらいを拓く社会学 看護・福祉を学ぶ人のために』ミネルヴァ書房. (「第9章 ボランティアとNPO 集合行為としてのボランティア」を担当)

#### その他

- ・2004, "Talking HIV/AIDS without Elimination of PWA/H: A Japanese NGO 's attempts," XV International AIDS Conference in Bangkok, 21-23.
- ・2006, 書評 山田富秋編著『ライフストーリーの社会学』『社会学研究』80:271-276.

#### 翻訳

- ・2006, 平山満義監訳『質的研究ハンドブック 1巻 質的研究のパラダイムと眺望』北大路書房 (= N.K.Denzin and Y.S.Lincoln eds.Handbook of Qualitative Research,second edition.) (「誰のために 質的研究における表象 / 代弁と社会的責任」を担当, 徳川直人との共訳)

### リンク

- ・[東北大学文学部行動科学研究室](#)
- ・[READ](#)

### 研究カテゴリ

